山都町立潤徳小学校　学校だより

潤徳小伝説～永遠に～

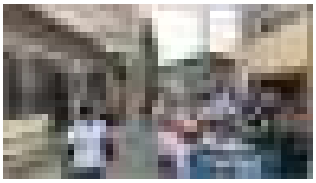
潤徳小HP　令和５年９月５日（火）　第２２号
２次元ｺｰﾄﾞ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

潤徳小４年ぶりの八朔祭出場

本校倉庫には、八朔祭り用リヤカー（山車）が大切に保管されていました。よく観察していて、様々な創意工夫がなされている山車であることに気づきました。

①ビニールハウス仕様の天井。雨から荷物を守ります（右下写真）②雨にも強いプラスチック製の飾り花（左上写真）③パレード隊を雨から守る横・後ろの垂れ幕（左下写真）結果的に保管にも強い仕様となっていたのです！

当日パレード時の周囲からの声援やお心遣い数の多さにビックリしました。気候も暑くなく、子どもたちが笑顔いっぱいで演奏する姿を見ることができたことが一番うれしかったです。



急ピッチで進んでいる閉校事業

閉校事業実行委員会から学校設置用のぼり旗が届きましたので、八朔祭り当日（２日）の朝から職員で設置しました。学校前を通る車から旗を見る姿をよく見かけるようになりました。

また実行委員長の高松さんと運動会の話をしていると「運動会はいつな？」と聞かれるそうで地域には情報がいってないことを知りました。防災無線にてお知らせすることにしました。教室では、６年生が運動会時にドローン撮影する全体写真に使用する横断幕を作っていました。これに本校児童・職員全員の手形を入れたら完成です！

潤徳抄Ⅱ

「寂しいなあ・これほしいなあ」八朔祭り参加に伴う登校日の朝、校長室前にあるのぼり旗を見ながらのKさんのつぶやきである。また前日には６年生から「修学旅行に（閉校記念）Tシャツを着ていいですか？」との相談が６年担任にあったと聞いた。子どもたちの母校愛がとてもうれしい▼学校までお花代を届けていただいた地域の方の言葉から「寂しくなりますね。もうここは通るだけになってしまうんですね・・。孫が全部（潤徳小に）お世話になりました」聴いていて思わず私も目頭が熱くなった▼のぼり旗が校区に立ち並び、八朔祭りの前日から来校される方が増えてきた。「閉校」の現実をさらに突きつけられた。昼どきには、外からのぼり旗・校舎が入るアングルで写真撮影をされている方の姿が校長室から見えた▼今週、最大３回、防災無線で本校運動会の案内を流す予定だ。最後の運動会、ぜひ多くの方に参加していただき、地域皆さまの記憶に残るものにしたい。